

## 情報公開内容

**課題名：ガドキセト酸ナトリウム造影 MRI による原発性肝細胞癌の診断能力：移植患者の摘出肝における検討**

### 本研究の目的

ガドキセト酸ナトリウム（以下 EOB）は肝臓に特異的に取り込まれる比較的新しい MRI 用の造影剤であり、ガドキセト酸ナトリウムを使用した MRI（以下 EOB 造影 MRI）診断が肝腫瘍の診断に有用であることはすでに確立されています。しかしながら、この EOB 造影 MRI では原発性肝細胞癌は様々な信号を呈するため、EOB 造影 MRI でどれだけ原発性肝細胞癌を検出できるかは正確にはわかっていません。

今回の研究の目的は、EOB 造影 MRI 画像と肝移植前に摘出された肝臓全体の病理学的所見を対比させ、EOB 造影 MRI における原発性肝細胞癌の検出能力を検討することです。

### 本研究の対象

生体肝移植が予定されており、移植前に EOB 造影 MRI が施行された患者さん。

ただし、EOB 造影 MRI 検査の直前（1 ヶ月以内）に肝臓に対しなんらかの加療が施行されている患者さんは除外させていただきます（治療により MRI 画像が変化する可能性があるためです）。

### 本研究の意義

本研究により EOB 造影 MRI における原発性肝細胞癌の真の検出能力が明らかとなる可能性があります。これによって原発性肝細胞癌が疑われる患者さんにおいて、EOB 造影 MRI 検査をどのタイミングで行うべきか、またその結果をどのように判断していけばよいか、など原発性肝細胞癌診療に大きく影響するものと思われ、本研究は臨床的にも非常に重要性が極めて高い

と考えています。

### **本研究での評価項目**

本研究ではすでに行われている EOB 造影 MRI 画像と摘出された肝臓の病理学的結果を用い、EOB 造影 MRI による原発性肝細胞癌の検出能力を評価します。カルテを調べて調査することが主な調査方法です。調査項目は、患者の性別、年齢、採血結果、既往歴、臨床診断、画像診断、病理診断です。

### **本研究への参加と個人情報保護**

この研究への参加はどの段階でも撤回できます。

本研究への参加を拒否されてもなんら不利益は生じません。

この研究に参加することで特別な謝礼金などの資金援助はありません。

学会論文発表は完全に匿名化してなされます（名前、ID、イニシャル、生年月日は記載されません）。

症例の個人情報は匿名化されますので、個人情報が漏洩することはありません。

### **問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先**

担当者所属：広島大学病院 放射線診断科

職名：医科診療医

氏名：中村優子

連絡先電話番号：082-257-5257